

JAMCA ニュース

The Japan Automobile Maintenance Colleges Association



No.21
1999年4月1日

発行 全国自動車整備専門学校協会
 協会事務局 〒160-0015 東京都新宿区大京町31
 ヴィップ新宿御苑 ☎03-3356-7066
 編集事務局 〒125-0002 東京都葛飾区西亀有3-28-3
 ☎03-3601-2535 FAX03-3601-2988

この初夢を正夢にしたい

大学・専門学校の相互乗り入れ

「リリーン、リリーン」

「はい、〇〇整備専門学校です」

「私、□□大学工学部の学生です。来年、大学を卒業した後、貴校に編入学したいと考えているのですが、どうしたらよろしいでしょうか」

「?????.....」

何と返事したらよいかと考えているうちに、はっと目が覚めた、という初夢はいかがでしょうか。

今年の4月から、専門学校卒業生が大学へ編入学する道が開かれました。まだ実績がないので何とも言えません、ひょっとすると、専門学校発展の非常に大きな「鍵」になるかもしれません。

私としては、そうなることを期待し、自分でも、そういう道筋を作りたいと考えております。

ここで、更に一步踏み込んで考えてみましょう。大学への編入学の次のステップは何でしょうか。冒頭に掲げたような「初夢」ではないでしょうか。

大学卒業生が専門学校へ編入学する道がなかったことが不思議な気さえます。

私どもの学校でも、大学卒業生の再入学というケースが、少しずつですが増えてきております。更に言い



我妻 祥宏

日産自動車整備専門学校校長
 全国自動車整備専門学校協会副会長

ますと、このような場合、以前はほとんどの学生が文系でしたが、最近では理工系の学生も来るようになりました。

理工系の学生にとっては「内燃機関のサイクル論」や「自動車の運動力学」などは、もう十分知っている、とすることになるでしょう。

ところが、現在私どもには、このような学生に対して特別な便宜を与える手立てが何もありません。

しかし、いつまでも「何もありません」と言ってすましているわけにはいかない時代になりつつあると思います。

大学の理工学部で学んだことが無駄にならない、うまく生かせるようになれば、このような学生がもっとも

っと増えるのではないのでしょうか。大学の工学部卒業生に対する特典としては、編入学も一つの方法ですが、ほかにも単位の認定（または互換）、修業期間（または授業時間）の短縮などいろいろなことが考えられます。どれをとっても、私たちだけでは解決できませんが、関係官庁の理解と協力を得て検討すべき時代になったと思います。

このように大学と専門学校の相互乗り入れの道筋ができて、初めて高等教育機関としての専門学校の位置づけが明確になるのではないのでしょうか。

現在、自動車整備業界では一級整備士の実現が大きな話題となっておりますが、これが実現し、更に私の「初夢」が実現し、より多くの有能な若者が整備業界に関心を持ってくれるようになることを心から願っております。

■ CONTENTS ■

- 2面 OPINION
- 3面 北から南から
- 4・5面 特集・一級整備士と就職
- 6面 トピックス・先生方の声
- 7面 活躍卒業生・地区通信
- 8面 私の教授法・編集後記